



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社

コード番号 9046 URL <http://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長

(氏名) 前田 正明

TEL 078-576-8671

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,789	0.0	869	2.8	710	△2.7	607	△5.3
28年3月期第1四半期	5,787	0.5	845	38.5	730	82.0	641	67.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 584百万円 (△17.6%) 28年3月期第1四半期 709百万円 (59.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	7.56	—
28年3月期第1四半期	7.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	94,212	15,310	16.3	190.32
28年3月期	95,954	14,726	15.3	183.06

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 15,310百万円 28年3月期 14,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,930	△0.9	2,000	△12.4	1,170	△20.6	1,010	△18.2	12.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	80,615,668 株	28年3月期	80,615,668 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	171,224 株	28年3月期	169,042 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	80,445,548 株	28年3月期1Q	80,464,194 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善はみられるものの、金融・資本市場の不安定な動きなどを背景とした企業の景況感や消費マインドの低下に加え、世界経済の下振れリスク等もあり、先行きの不透明感が強まるなかで推移しました。

この間当社グループにおいては、平成25年度から28年度までの中期経営計画「グループビジョン2016」に基づき、各部門において増収に注力するとともにコストの削減に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は5,789百万円となり前年同期に比べ2百万円(0.0%)増加、営業利益は869百万円となり前年同期に比べ24百万円(2.8%)増加、経常利益は710百万円となり前年同期に比べ20百万円(2.7%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は607百万円となり前年同期に比べ34百万円(5.3%)減少しました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、引き続き安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、運転保安度の一層の向上を図るため、軌道の強化、法面の防災、信号機のLED化等の工事を推し進めました。

増収策としては、企画乗車券において、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬・六甲周遊1dayパス」や「有馬温泉 太閤の湯クーポン」を発売しました。また、地元の観光協会等とともに様々なイベントを実施したほか、沿線自治体や各種団体と連携した企画ハイキング等を開催し、多数のお客様にご参加いただきました。さらに、神戸市が発売する企画乗車券「神鉄シーパスイオン(神戸電鉄の高齢者利用促進パス)」の拡大版として、神戸高速線も利用できる「神鉄シーパスイオンplus」が新たに加わり、同市と連携してその周知とご利用者の拡大に努めました。

ご利用者の減少が続く粟生線においては、粟生線活性化協議会が策定した地域公共交通総合連携計画の重点方針に基づき、「粟生線サポーターズクラブ」と連携した取組や協議会ホームページを通じた情報発信を強化するなど、地域の皆様や沿線自治体と一体となって利用促進・啓発に取り組みました。

なお、鈴蘭台駅においては、平成30年夏頃の供用開始を目指して橋上駅舎化工事を鋭意進めております。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は3,370百万円となり、前年同期に比べ34百万円(1.0%)増加し、営業利益は574百万円となり、前年同期に比べ23百万円(4.2%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、平成28年1月に取得した新規物件(神戸市北区)が収益に寄与したほか、既存物件の稼働率向上により収益の拡大を図るとともに、土地建物販売業においては、神戸市北区の戸建用地の販売に努めました。

また、神戸市により施行されている鈴蘭台駅前再開発事業においては、駅前の活性化および利便性の向上を図るため、継続して関係各所と協議を進めております。

しかしながら、戸建用地の販売区画数が減少したため、当第1四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は474百万円となり、前年同期に比べ63百万円(11.7%)減少し、営業利益は243百万円となり、前年同期に比べ5百万円(2.0%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、各店舗で魅力ある集客イベントを開催するとともに、産地直送野菜等を景品とする販売促進キャンペーンを実施したほか、親しみやすく品揃えが豊富な売場づくりを進めるなど、積極的な増収策を展開しました。

また、事業の強化を図るため前連結会計年度に駅売店からコンビニエンスストア「セブン-イレブン」に転換したコンビニ業においては、各店舗とも順調に推移しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の流通業の営業収益は1,647百万円となり、前年同期に比べ112百万円(7.3%)増加し、営業利益は24百万円となり、前年同期に比べ2百万円(9.1%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,742百万円減少の94,212百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2,326百万円増加の78,902百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ583百万円増加の15,310百万円となり、自己資本比率は16.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187	1,181
受取手形及び売掛金	1,007	930
短期貸付金	107	85
販売土地及び建物	824	824
商品	111	112
貯蔵品	446	463
未成工事支出金	0	10
その他	1,557	373
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,241	3,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,413	46,084
機械装置及び運搬具(純額)	5,483	5,388
土地	34,716	34,716
建設仮勘定	1,137	1,166
その他(純額)	401	388
有形固定資産合計	88,151	87,745
無形固定資産		
のれん	18	17
その他	670	644
無形固定資産合計	689	661
投資その他の資産		
投資有価証券	812	777
長期貸付金	754	745
繰延税金資産	44	43
その他	287	285
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	1,872	1,824
固定資産合計	90,713	90,231
資産合計	95,954	94,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,288	1,163
短期借入金	25,457	27,079
未払法人税等	160	111
前受金	86	109
賞与引当金	49	86
ポイント引当金	14	15
その他	2,340	2,670
流動負債合計	31,397	31,236
固定負債		
長期借入金	42,817	40,188
繰延税金負債	25	23
再評価に係る繰延税金負債	3,475	3,475
退職給付に係る負債	875	790
負ののれん	1	1
長期末払金	575	566
長期預り保証金	907	900
その他	1,151	1,720
固定負債合計	49,830	47,666
負債合計	81,228	78,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	1,574	2,182
自己株式	△50	△50
株主資本合計	13,234	13,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	87
繰延ヘッジ損益	△87	△80
土地再評価差額金	1,491	1,491
退職給付に係る調整累計額	△33	△31
その他の包括利益累計額合計	1,491	1,468
純資産合計	14,726	15,310
負債純資産合計	95,954	94,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業収益	5,787	5,789
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	4,327	4,287
販売費及び一般管理費	614	631
営業費合計	4,941	4,919
営業利益	845	869
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	19
物品売却益	0	15
雑収入	110	20
営業外収益合計	128	55
営業外費用		
支払利息	229	207
雑支出	14	7
営業外費用合計	244	214
経常利益	730	710
特別利益		
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	4	-
税金等調整前四半期純利益	734	710
法人税、住民税及び事業税	91	101
法人税等調整額	1	1
法人税等合計	93	102
四半期純利益	641	607
親会社株主に帰属する四半期純利益	641	607

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	641	607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△32
繰延ヘッジ損益	3	7
退職給付に係る調整額	△5	1
その他の包括利益合計	67	△23
四半期包括利益	709	584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	584
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	3,326	472	1,532	5,331	455	5,787	-	5,787
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	10	65	2	78	173	252	(252)	-
計	3,336	537	1,535	5,409	629	6,039	(252)	5,787
セグメント利益	551	248	22	823	34	857	(11)	845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・保育事業及び建設業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△11百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	3,364	403	1,644	5,412	376	5,789	-	5,789
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	6	71	2	80	178	258	(258)	-
計	3,370	474	1,647	5,492	555	6,047	(258)	5,789
セグメント利益	574	243	24	842	28	870	(1)	869

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・保育事業及び建設業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 運輸成績

		当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	5,305	5,228	1.5
	定期	10,054	10,084	△0.3
	計	15,359	15,312	0.3
旅 客 収 入		千円	千円	%
	定期外	1,276,580	1,256,568	1.6
	定期	1,212,544	1,231,767	△1.6
	計	2,489,124	2,488,336	0.0

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は千円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。